

有病者、高齢者の安全な歯科治療のポイントと スムーズな病診連携の進め方について



九州中央病院歯科口腔外科部長

【講師】 **堀之内 康文** 先生

【ご略歴】

昭和 57 年 3 月 九州大学歯学部卒業
昭和 57 年 6 月 九州大学歯学部第二口腔外科医員
昭和 61 年 10 月 九州大学歯学部第二口腔外科助手
平成 11 年 10 月 九州大学歯学部附属病院高度先端治療部顎変形症治療室長を併任
平成 14 年 8 月 公立学校共済組合 九州中央病院 歯科口腔外科 部長
現在に至る

【資格・役職】

歯学博士(九州大学)、九州大学歯学部臨床教授、熊本大学医学部臨床教授、福岡歯科大学非常勤講師
日本口腔外科学会認定専門医、指導医、日本歯科麻酔学会認定医、日本口腔顔面神経機能学会認定医、日本口腔外科学会代議員、日本顎変形症学会代議員、日本顎顔面外傷学会代議員、日本有病者歯科医療学会理事、日本口腔顔面神経機能学会理事、日本病院歯科口腔外科協議会理事

高齢者はそのほとんどがいろいろな全身疾患を有しており、多くの薬剤を処方されています。また身体の予備力が低下しており、歯科治療中のちょっとした不注意で重篤な状態に陥りかねません。このような状況下で今や歯科医師は、口腔内の知識にとどまらず全身疾患、その治療法、使用薬剤、歯科治療時の注意点、トラブル発生時の対応等についての知識がなくては安全に歯科治療を行えないようになってきています。

また患者さんの全身状態を正しく把握し、安全に歯科治療をするためには、医科担当医への照会や医科との連携が必要です。しかしながら医科との連携を苦手とする歯科医師が多いようです。

今回、治療機会の多い全身疾患（高血圧、糖尿病、脳血管障害、心疾患、ガン、リウマチ、ワーファリンやビスホスホネート製剤服用患者など）について、局所麻酔、観血的処置を行う上で注意すべき点、止血法、投薬、術前術後の管理の注意点など、翌日からの診療にすぐに役立つ実践的なポイントとスムーズな病診連携の進め方についてお話し致します。

【日時】 **4月14日(土) 15時~18時**

【会場】 **小倉歯科医師会館** (北九州市小倉北区大手町 11-6 TEL093-581-0550)

【定員】 **120名** (定員に達し次第、締め切らせて頂きます)

【会費】 **会員無料** (会員限定の研究会です、未入会の先生は事前にご入会下さい)

【ご返信 **FAX: 092-473-7182**】

4/14 堀之内康文先生講演会ご参加申込書

TEL _____ FAX _____

医院名

会員氏名